



国際ロータリー第2600地区

上田六文銭ロータリークラブ

Rokumonsen Rotary Club



2015-16年度
国際ロータリー会長
K.R “ラビ” ラビンドラン
第2600地区ガバナー 望月 宗敬

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1 上田東急REIホテル3F
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002
http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30
《例会場》上田東急REIホテル2F
《創立》1997年2月18日

●会長 西澤 文登 ●幹事 横沢 正 ●会報委員長 松澤 一志 ●副委員長 中澤 信敏 ●委員 柄澤 堯/鹿志村 恭彦

例会日誌



司 会 生川 秀樹君
開会点鐘 西澤 文登君

プログラム

- ・広報情報委員会

宮原 宏一君

『ロータリーの友』

紹介

- ・職業奉仕委員長 中澤 信敏君

『職業奉仕の具現化』



していただきました。米山セミナーでは米山記念奨学会事務局の志村桂子さんに近年の米山奨学事業を中心に講演していただきました。とてもよいお話でした。内容は本日の会報で別記事として報告させていただきます。

前回の例会クラブフォーラムではこれからのクラブの在り方について皆様から貴重なご意見をいただきました。本音のトークが少しできたと思っております。飯島さんからは「クラブの解散を考慮した方がよい」という厳しいご指摘を受けました。クラブ創設時の幹事としての深い思い入れがあつてのご意見だと思います。実は私も会長就任前は 6 割方同じ思いでした。しかし今は思い直してクラブを残すことを真剣に考えております。

上田六文銭 RC が無くなるということは大変なことです。まずこうして集っている仲間がバラバラになります。少なくとも火曜日の昼にこうして集まって親しく談笑する場が無くなります。クラブの合併という話も聞かれることですが、もしそれが可能だったとしても合併してからの少人数の六文銭クラブの仲間の処遇はどうなるのでしょうか？過去に私は新クラブ設立の際の移籍会員の方のその後を見ております。会社合併後の少数派社員の方の苦しみも見ております。

会員数の問題はさほど気にしておりません。24 名でできる活動をすればよいのです。

会長挨拶



西澤 文登君



お天気が悪いですね。人間というものは勝手なもので暑ければ早く涼しくならないか、涼しくなればなつたで暑さを恋しがる。しかし今年

は急激すぎます。農作物

が心配ですね。
8 月 28 日、松本で地区の米山と財団のセミナーがあり、私は午前中の米山セミナーに出席いたしました。午後の財団セミナーには水野委員長と事務局の堀内さんに出席

クラブテーマ 「ロータリーの心」を実感し、クラブのアイデンティティーを確立しよう!!





それなりのやり方があるはずですが。どうしても経費が足りなければ一時的に積立金を利用すればよいのです。知恵を使った内容のある活動をして行けば新しい仲間も必ず増えます。一番問題なのは次の会長が決まっていないことです。次のリーダーが決まらなければ我がクラブには来年度が無いということなのです。現在は会長選考活動を一時休んでいます。会員増強活動も次の体制が少しはつきりするまではということに休んでいるところです。早く自信を持って有望な新人を勧誘したいものです。

一番望ましいことはクラブの現状を理解して「我こそは」と会長候補に名乗り出てください。お待ちしております！

恵送

1. 上田東 RC 様・・・会報 友愛の広場

全会員配布物

1. 当クラブ会報 第 859 号
3. ロータリーの友 9 月号
4. 月信 第 3 号

その他

1. ヴァイオリンコンサートのポスターを配布させていただきました。
チケットの取りまとめを事務局で行います。
2. **9月の理事会は8日から15日に変更です。**

出席・ニコニコBOX報告



小嶋 修一君

幹事報告



横沢 正君

1. RI より
 - ・ 2015.9 月 ロータリーレート 1\$ = 124 円
 - ・ 財団 NEWS 9 月号
 - ・ ロータリー特別月間に伴うリソースのご案内
 - ・ 9 月は「基本的教育と識字率向上月間」について
 - ・ 国際名簿が DVD で届いています。
2. 米山奨学会
 - ・ 7 月寄付金傾向
3. 望月ガバナー事務所より
 - ・ ガバナーノミニー選出に関するお願い
 - ・ 2014-15 年度 物故会員一覧表
 - ・ 派遣交換留学生帰国報告会のご案内
4. ボーイスカウト日本連盟より
 - ・ 第 23 回スカウトジャンボリーの御礼
5. ガールスカウト長野県第 5 団より
 - ・ 団委員長就任のご挨拶
 - 新団委員長 内海真由美 様
6. ガールスカウト長野県第 25 団より
 - ・ 残暑見舞いはがき
 - ※ 第 25 団ガールスカウト様 国交大臣表彰されました。

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	23	5	-	78.26%
前々回	24	12	6	75.00%

- 山崎博太君 今日天気は秋晴朗！？
- 西澤文登君 お天気が悪いですね。農作物が心配です。
- 水野泰雄君 秋雨前線～すっかり秋です！
本日は中澤君～よろしくお願いします。
- 飯島俊勝君 秋雨前線でしょうか。台風の続きで雨はもうたくさんですネ。
- 宮原宏一君 中澤信敏君、卓話楽しみにしています。
- 中沢利樹男君 錦織圭、初戦敗退。しばらく楽しめると思っていたのに残念です！

肥田野秀知君	笠原 一洋君
柄澤 堯君	小嶋 修一君
松澤 一志君	中澤 信敏君
西澤 尚夫君	生川 秀樹君
杉山 裕君	田中 栄一君
山崎 芳雄君	横沢 正君





プログラム



『職業奉仕の具現化（見える化）』事業説明
 職業奉仕委員長 中澤 信敏君



今年度の 2600 地区重点事業に位置づけられた「職業奉仕の具現化」を目指すため、若い人々に機会を開き、観光客などのニーズに応えながら、その世代の生活の質を高めるために、会員の職業経験を活かした観光ボランティアガイドの活動を通じ、青少年を対象にした「真田家をテーマにした寄付講座（出前講座）」を実施します。

その内容をビデオに記録後、インターネットの YouTube に載せ、学校に対して教材として活用をするよう促す。子どもたちに、郷土愛を育みながら、観光客ともおもてなしとしての対話をするきっかけづくりとして、観光ボランティアガイドの方にガイドを依頼し真田を知る機会を作ります。

開催日 平成 27 年 10 月 20 日（火） 9:00
 場所 主に上田城周辺
 対象 上田市立第五中学校 2 学年の生徒 6 名の予定
 講師 西澤文登君
 協力 手塚正道さん ビデオ撮影・編集
 補足 子どもたちは、弁当持参で指定した場所に集合、現地解散となる。途中車での移動が発生する場合、メンバーの車にて移動する。今年度はこの事業を行うため、従来の職場例会は行いません。

米山セミナー参加報告

西澤 文登

昨年度米山寄付金は久々に 14 億円を突破したとのこと。月 15 万円（年 180 万円）ですから 720 人規模ということになります。ちなみにバブル期の国内会員 12 万人時代には 20 億円、1,100 人規模だったそうです。昭和 27 年（1952）東京 RC に創設された米山基金が基ですから 60 年以上の歴史

があり累計で 18,648 人の奨学生を送り出しています。国別で見ますと、中国 6,154 人、韓国 4,273 人、台湾 3,406 人ということでこの 3 カ国だけで 1 万人以上になります。それだけ隣の 3 カ国からの留学生が多いということになります。

すでに皆様ご承知のように近年日本国と隣国の中国・韓国との仲は最悪です。互いの国に悪印象を持っていると 90%以上の両国国民が答えているというアンケート結果があるそうです。時の政権の都合でいたずらに悪印象を持たせるように仕向けているのではないのでしょうか。一方同じアンケートで、日中関係、日韓関係は重要だと 70%以上の国民が思っているという結果も出ています。つまり感情では受け入れられなくても理性では重要な関係だと思っているわけです。国同士は政治情勢や体面のせいで仲良くできないけれど民間では仲良くやっていかなければいけないと大方の国民が考えているわけです。

米山奨学金制度は世界でも最大級の奨学金制度です。その規模だけでなく運営方法が大変優れた奨学金です。ただお金を助成するだけでなく奨学生には必ずカウンセラーが付き、奨学生の生活全般にわたって相談に乗るといった特長があります。このカウンセラー方式は日本ロータリーが世界に誇れることだと思います。奨学金を受けた留学生が一様にお金もちろんのこと、カウンセラーに世話になったことを感謝しています。国同士がうまくいっていない時だからこそより大切に、力を入れなければいけない奨学金制度だということです。

近年奨学生のその後はどうなっているかという調査ができていくという問い合わせが事務局にあるそうです。事務局でもカウンセラー経験者などから消息を聞くなどして調査が始まっているようです。わかる範囲で誕生日メールを打つなどの活動を続けているということです。セミナーの質疑応答の時間にその質問がありましたが、北信のガバナー補佐から「根掘り葉掘りの調査はいかがなものか」という意見がありました。上から目線になっていないかというご意見でした。私もまったく同感で、すがすがしい気持ちになりました。これぞロータリーという気分でした。

[同日ロータリー財団のセミナーも行い、R 財団水野委員長、事務局が出席しました]





真田三代豆知識

川中島の戦い

西澤文登

武田信玄の信濃侵攻は着々と進み、天文 21 年（1552）までに佐久・諏訪・伊那・筑摩・安曇等の攻略をほぼ完了し、翌年には小県から北信濃征圧にかかります。砥石城を真田幸隆に奪われたといっても義清の基盤はまだまだ強固でしたが幸隆等の武田勢は周辺部を攻略しながら次第に網を狭め村上方勢力の体力消耗を図る戦法をとりました。天文 22 年（1553）4 月 9 日に義清の本拠葛尾城が自落、義清は高井郡の高梨氏のもとに走り、高梨を通じて越後の長尾景虎（後の上杉謙信）に救援を求めます。謙信の助けを借りて一旦葛尾城を奪回しますが既に戦いの場は塩田城に移り、武田軍は塩田城を激しく攻め立てました。村上^{じらく}の有力武将である屋代氏、室賀氏、小泉氏等も次々と武田配下となり塩田は 8 月 5 日自落。これにより小県は完全に武田信玄の勢力下になります。自落とは城方の軍が戦意を失って退却し城を明け渡すことを言います。

小県を制圧した武田信玄はいよいよ本格的に北信濃侵攻にかかりますが、本拠地を追われた村上義清や高梨政頼等は越後の上杉謙信を頼りましたからここに北信濃をめぐるの信玄と謙信の長年の戦いが始まります。これが 5 回 12 年にわたる川中島の戦いです。1 回目から 3 回目までは一方が攻め寄せると一方が退くといういわばにらみ合いが多かったようです。真田幸隆は要所で武田方の勢力として活躍しています。海津城（松代城）はこの間に武田方の前線の城として築かれました。

永禄 4 年(1561)8 月、上杉謙信は越後の春日山城を出て善光寺平に進出、海津城を眼下に見下ろせる妻女山に陣取りました。これを聞いた武田信玄は甲府を出て海津城に入ります。互いににらみ合いが続きましたが、信玄は軍師山本勘助の「2 万の兵の内 1 万 2 千で妻女山を急襲、追い出されて山を降りた上杉勢を残りの 8 千が千曲川を渡った所で待ち伏せる」という有名な啄木鳥戦法を採用、実行に移します。一方上杉謙信はこの作戦



一騎打ちの像（川中島古戦場公園）

を見破り、裏をかいて夜のうちに 1 万 3 千の兵は川を渡り夜明けとともにやって来た武田の待ち伏せ部隊に襲い掛かりました。謙信は海津城の炊事の煙から作戦を見破ったと言われています。これが世にいう八幡原の戦いです。信玄・謙信の一騎打ちがあったという伝説があります。この戦いの初めは上杉勢、後半は武田勢の勝利に終わったと言えますが、双方とも有力武将を数多く失いました。

上杉年譜等に武田勢として真田一徳斎（幸隆）、真田源太左衛門（幸隆の長男・信綱）の名が見えます。この時幸隆は 49 歳、前線の大將格。信綱は 25 歳です。ちなみに昌幸は 15 歳、この川中島第 4 次合戦で初陣を飾ったと言われています。

